

精進重ね事業発展に寄与

市内事業所に永年勤続する従業員を表彰

市商工会(高橋富一会長)が主催する令和2年度永年勤続優良従業員表彰式は1月8日、八幡平ハイッで行われ、永年にわたり勤めた功労者に表彰状が贈られました。

高橋会長は「新型コロナウイルスの影響で深刻な状況だが、再び経済が元気になるよう、皆さんの活躍に期待しています」と式辞。被表彰者を代表して田村博之さんが「周りの支えに感謝して、さらに精進を重ねていきたい」と感謝の気持ちを表し、決意を示しました。

表彰を受けた従業員(勤続15年以上)は次の通りです(順不同・敬称略)。

◎全国商工会連合会会長表彰(勤続年数30年以上)

田村博之、小野寺清(肉の横沢)、田村悟(遠忠)

◎県商工会連合会会長表彰(勤続年数20年以上)

千葉芳夫、立花勝、館山義信(遠忠)、芳門重信(八幡平温泉開発)、高橋菊巳(荒沢運送)

◎市商工会会長表彰(勤続年数15年以上)

三上順一、中軽米梅子、高村佐知子(八幡平市産業振興)、工藤さゆり、松村美幸(岩手エッグデリカ)、荒木田優也(高橋板金)、遠藤めぐみ(北東地質ボーリング)、四戸恵(ファーストコートサービス)、田中耕輔(八幡平温泉開発)

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係(☎・内線1203)



高橋会長(左)から賞状を手渡される田村博之さん



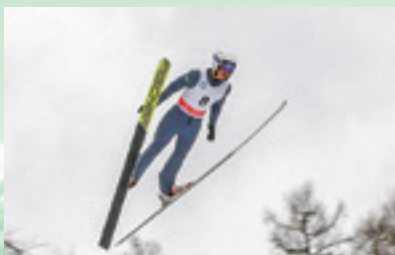
受賞の喜びを伝えた(左から)中軽米会長と伊藤さん

健康づくりの輪を広げる

食改協の減塩推進や食伝承の取り組みが評価

市食生活改善推進員連絡協議会の中軽米こう子会長が栄養関係功労者厚生労働大臣表彰、伊藤久美子さんが公衆衛生功労者知事表彰(いずれも令和2年度)を受賞し、12月11日に市役所を表敬訪問しました。

二人は健康増進のための減塩推進や地域の食文化継承など、長年にわたる取り組みが評価されての受賞。中軽米会長は「コロナで活動が難しい状況だが、塩分摂取量の改善が見受けられているので、これからも一層、食の大切さを伝えていきたい」と力を込めました。



第73回県民体育大会スキー競技会のジャンプ、コンパインドの両種目を開催(1月16日、矢神飛躍台)



県中学、高等学校スキー大会アルペン種目を開催(1月9日~11日、安比高原スキー場)



ガリウムカップ第32回田山クロスカントリー大会を開催(1月6、7日、田山グラウンド)



仕上げて飾り付けのバランスを手直しする親子

正月の情景を手作りで

県民の森が年末恒例の門松教室を開催

門松教室は12月26、27の両日、森林ふれあい学習館フォレストアイで開かれ、市内外から参加した25人が門松作りに挑戦しました。

縄の飾り結びに四苦八苦するも、スタッフの指導を受けながら約90分の門松を作製。持参した飾りを付け足して、その出来栄に喜ぶ姿も見られました。

盛岡市から母親と参加した新野桃子さん(8)は「上手にできたので飾るのが楽しみ。良い正月を迎えられそう」と目を輝かせました。

未来を明るく照らす思い

松尾地区婦人会連絡協議会が義援金を贈呈

松尾地区婦人会連絡協議会(佐々木由美子会長、会員52人)は12月25日、市総合福祉センターで(福)市社会福祉協議会に歳末助け合い義援金2万6千円を手渡しました。

義援金贈呈は、同連絡協議会が数十年取り組みを続ける活動。昨年は感染症の影響で義援金を集める機会が無くなりましたが、これまで続けている活動を絶やすまいと会員から寄付を募りました。義援金は昨年末、市内の寝たきりの高齢者などに届けられました。



「少しでも暖かい正月に」との願いが込められています

表情は芸術家そのもの

寄木学童保育クラブの児童が陶芸を体験

陶芸教室(七時雨いきいきネットワーク主催)は1月6日、寄木学童保育クラブで開かれ、児童30人がカップやわん作りを体験しました。

松田康嗣さん=仲町=を講師に迎え、陶器の特徴や作り方を学習。粘土を乗せた手回しろくろを回し、思い通りの形になるまで何度も挑戦しました。

ご飯茶わんを作った吉田琉生君(寄木小3年)は「思ったより上手にできた。これでいっぱい食べたい」と仕上がりを心待ちにしていました。



松田さんに成形のコツを教えてもらう児童

色とりどり願いそれぞれ

平館コミセンがみずき団子を贈呈

平館コミュニティセンター(工藤弘光センター長)は1月5日、みずき団子を市に贈り、庁舎を彩りました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、平館こども園の園児と例年行う餅づくりの機会を設けることができなかったため、購入した飾りを園児と共に装飾。五穀豊穡や商売繁盛を祈るほか、疫病退散の文字も飾りつけ、コロナの早期終息を願いました。

工藤センター長は「いつもより出来は小ぶりだが、地域が明るくなる一端になれば」と笑みを浮かべました。



ミズキ団子を市長に手渡す工藤センター長(右)

地域に寄り添い40周年

安代ライオンズが空間除菌脱臭機を贈呈

安代ライオンズクラブ(本宮武彦会長)は1月14日、創立40周年の記念事業として、(特養)りんどう苑に空間除菌脱臭機2台を贈呈しました。

同クラブは地域社会への奉仕を目的に、昭和56年から活動。これまでも5周年ごとに地元の小中学校や施設に備品などを贈呈してきました。

りんどう苑の種市月子理事長は「利用者、職員の両方にとって、安心感のある環境を作ることができる。大変ありがたい」と謝辞を述べました。



大型の空間除菌脱臭機は2台で100万円相当

御『厄』御免のお焚き上げ

伊那々伊澤神社でどんと焼き

野駄地区の伊那々伊澤神社(工藤立見総代長)は1月9日、正月用の飾りを火にくべる「どんと焼き」を行い、地区住民が1年の無病息災を願いました。

この日は朝から約200戸が正月飾りを持参。神事後、しめ飾りなどに点火し、燃え上がる炎でお焚き上げをしました。

参列した佐々木えい子さんは「小正月の伝統行事が身近にありうれしい。家族の健康とコロナの終息をお願いした」と晴れやかな表情を見せました。

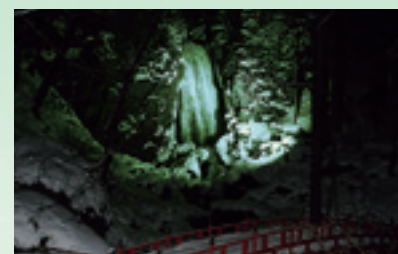


病や災害の無い平穏な年を願い高く舞い上がる炎

すなっぶギャラリー



日本遺産「奥南部漆物語」塗師体験イベントを開催(1月9日、寺田コミュニティセンター)



12月26日から1月3日までの夜間にライトアップされて幻想的な装いに(12月29日、不動の滝)



市建設協同組合(遠藤忠志理事長)がスキー大会実行委員会に大会協賛金20万円を贈呈(1月8日、市役所)



環境省のアクティブ・レンジャーが撮影した十和田八幡平国立公園の写真展(1月15日～2月4日、市役所)



平笠裸参りの代わりに、釜で沸かした岩手山の清水で身を清める湯立ての神事を実施(1月8日、宮田神社)